



2021年8月5日発行
 発行責任者
 立憲民主党・民権クラブ 佐々木ナオミ
 〒250-0875
 小田原市南鴨宮3-6-13 天野ビル1F西
 phone.0465-46-6831
 fax.0465-46-6857
<https://naomi-sasaki.com/>

No.12

新型コロナウイルスの拡大止まらず。ついに3回目の緊急事態宣言発令！

日を追うごとに拡大し続ける新型コロナウイルス感染症。8月5日には、ついに全国で15000人を超える事態となりました。国は、緊急事態宣言を、これまでの東京都・沖縄県から、神奈川県をはじめ千葉県・埼玉県・大阪府も追加し、8月31日までとしました。

しかし、緊急事態宣言が発令されても、飲食店への時短要請や酒類提供停止といった主となる取組みは、蔓延防止措置とほとんど同じ。このままで本当に感染拡大を抑えられるのか疑問の声が多く、全国知事会は、県をまたぐ移動自粛を要請し、「ロックダウン」の検討を国に提言しました。

また国は医療崩壊の危機を前に、これまでの方針を大きく転換し、重症者と重度化リスクの高い中等症者のみを入院させると発表。しかし、自宅療養者の医療へのアクセスをしっかりと確保する対策が取られなければ、この転換は“命の切り捨て”につながりかねません。

一方で、オリンピック・パラリンピック開催の影響か、人流が抑えられる気配は見えません。ワクチン接種の迅速化は当然のことながら、もう一度防疫の原点に立ち戻り、誰もが希望すれば無償で検査が受けられる体制の拡充や、リモートワークの推進を強化していくことが必要です。

長い間の自粛生活で、国民も様々な困難に直面し疲弊しています。事業者の減収に対する補償や困窮する国民への生活支援もさらに手厚く行わなければ、この難局を乗り越えるために、さらなる自粛を国民に要請することはできないと考えます。一刻も早い感染症の収束に向けた提言をこれからも続けていきます。

全国合計

15263人

群馬

158

栃木

135

埼玉

1235

茨城

185

東京

5042

千葉

942

神奈川

1846

8月5日 NHKまとめ

7月2日豪雨による土砂災害 県内で72箇所！

—小田原でも農地崩落、崖崩れなど発生—

7月2日の大雨により、熱海市の伊豆山で大規模な土砂災害が起きましたが、県内でも72件もの土砂災害がありました。そのうち、市内で大きな被害となった曽我大沢の現場に伺いました。

2haを超える農地の1/3ほどが崩落。ミカンの木やがれきとなった農機具小屋・防護柵などの混じった土砂が、周辺の民家や道路や水路に流入していました。

7月8日の環境農政常任委員会で、この件を質問。復旧にむけて、国の復旧支援事業を活用しますが、崩れた地形を盛り土で直すだけでは、再崩落の原因にもなりかねません。地権者や農業者の今後の営農計画に資する復旧工事となるよ

う、地元住民との連携を強化してほしい、と要望しました。

また、多くの犠牲者を出した熱海市伊豆山での大規模災害を受け、土砂災害危険区域に指定されている箇所の点検、そして今までともすれば悪質な残土処理の温床ともなってきた大規模盛り土の総点検と規制強化について、今後も県に働きかけを行います。



崩落した曽我大沢の農地。

小田原のニホンザル「H群19頭」全頭捕獲へ

—野生動物との共存は可能か?—



40年来、早川地域の皆さんから要望のあったニホンザル被害の問題、ついに県が全頭捕獲を決めました！小田原市が独自に行った生活被害の実態調査では、なんと半年で3800件もの被害が報告され、今回の県の決定の大きなきっかけとなりました。鳥獣害対策は年々深刻化しています。まずは丁寧な実態調査を行い、一刻も早い全頭捕

獲の実現を要望しました。鳥獣被害のない安心な暮らしを取り戻すために、地域の皆さんと連携して今後も頑張ります。

一方で、捕獲はあくまで緊急的な対症療法。里と山との境界線で生きる人々の暮らしを支え、野生動物と人の暮らしのゾーニングを再構築しなければなりません。

長期的な視点で、人間と野生動物の距離を適切に保つため、農地管理や森林保全を含めた自然保護対策に同時並行で取り組むべきと訴えました。

行った！
見た！
聞いた！

5/30



湯本見番にて、箱根湯本芸能組合さんに、コロナ禍での課題について視察。



6/11

桜井地域の連合自治会長さんと、桜井地区の様々な課題を県担当者とともに確認しました！

4/23



小田原で子どもの居場所をつくりたい！という皆さんと、川崎市の夢パークへ視察。運営するNPOの理事長西野博之さんにもお会いできて感激！

7/22



小田原市観光交流センターオープニングセレモニーに、来賓として参加。

7/16



県議会の所属会派主催の、各市町さんの意見交換会、今年も開催！多くの地元要望、しっかり県へ届けます！

6/26



社会福祉協議会にて、母子福祉会による、フードバンクを視察。生活にお困りの母子家庭の方が増えている深刻な現状をお聞きしました。



7/22



子ども食堂「まんまるほっぺ」視察。主催の皆さんと。

整備中の広域農道小田原湯河原線を視察。大きな岩盤に阻まれてなかなか事業が進まない状況です。県当局のご尽力に感謝。

神奈川県議会議員 佐々木ナオミの 県政報告会 + 学習会



「県政をもっと身近に！」をモットーに日々活動を展開しております。今回は、地元の皆さんに直結する課題について、ゲストを迎えての県政報告と学習会を開きます！ぜひご参加ください。

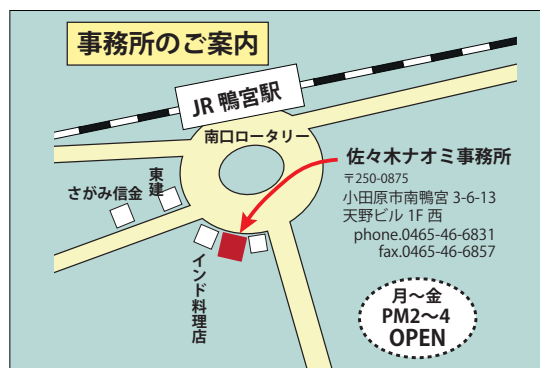
申し込み制(会場参加は満員にて締め切りました。)
☆ZOOM参加 (必ずメールでお申し込みください)
team.naomi.sasaki@gmail.com

第2回 8月29日(日) 14:00~16:00
小田原お堀端コンベンションホール

「富士山噴火に備える」

ゲスト：萬年一剛氏(神奈川県温泉地学研究所主任研究員)

2021年1月、神奈川県が富士山火山防災マップを発表しました。温泉地熱研究所の萬年研究員をお招きして、防災はもとより、過去の噴火や噴火のメカニズムなどわかりやすく解説していただきます。



佐々木ナオミ事務所



Facebook ページ

佐々木ナオミ



公式ホームページ

